

令和7年度第1回豊田市環境審議会

日 時：令和7年5月19日（月）10：00～12：00

場 所：豊田市役所 南庁舎 5階 南51会議室

会次第

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 第1回豊田市環境審議会 専門部会（脱炭素社会）の審議結果について（報告）
・・・【資料1】

(2) 計画改定のスケジュールについて（報告）・・・【資料2】

(3) 次期環境基本計画等について（協議）・・・【資料3】

(4) パブリックコメントについて（報告）・・・【資料4】

4 その他

5 閉会

【配布資料】

資料1 : 第1回豊田市環境審議会 専門部会（脱炭素社会）の審議結果について

資料2 : 計画改定のスケジュールについて

資料3 : 次期環境基本計画等について

参考資料 3-1-1 : 豊田市環境基本計画（素案）

参考資料 3-1-2 : 豊田市環境基本計画（概要版）

参考資料 3-1-3 : 豊田市環境基本計画 施策事業一覧

参考資料 3-1-4 : 豊田市環境基本計画 指標一覧

参考資料 3-2-1 : 豊田市地球温暖化防止行動計画（素案）

参考資料 3-2-2 : 豊田市地球温暖化防止行動計画（概要版）

参考資料 3-3-1 : 豊田市地域気候変動適応計画（素案）

参考資料 3-3-2 : 豊田市地域気候変動適応計画（概要版）

参考資料 3-4-1 : 豊田市一般廃棄物処理基本計画（素案）

参考資料 3-4-2 : 豊田市一般廃棄物処理基本計画（概要版）

資料4 : パブリックコメントについて

令和7年度 豊田市環境審議会 委員名簿

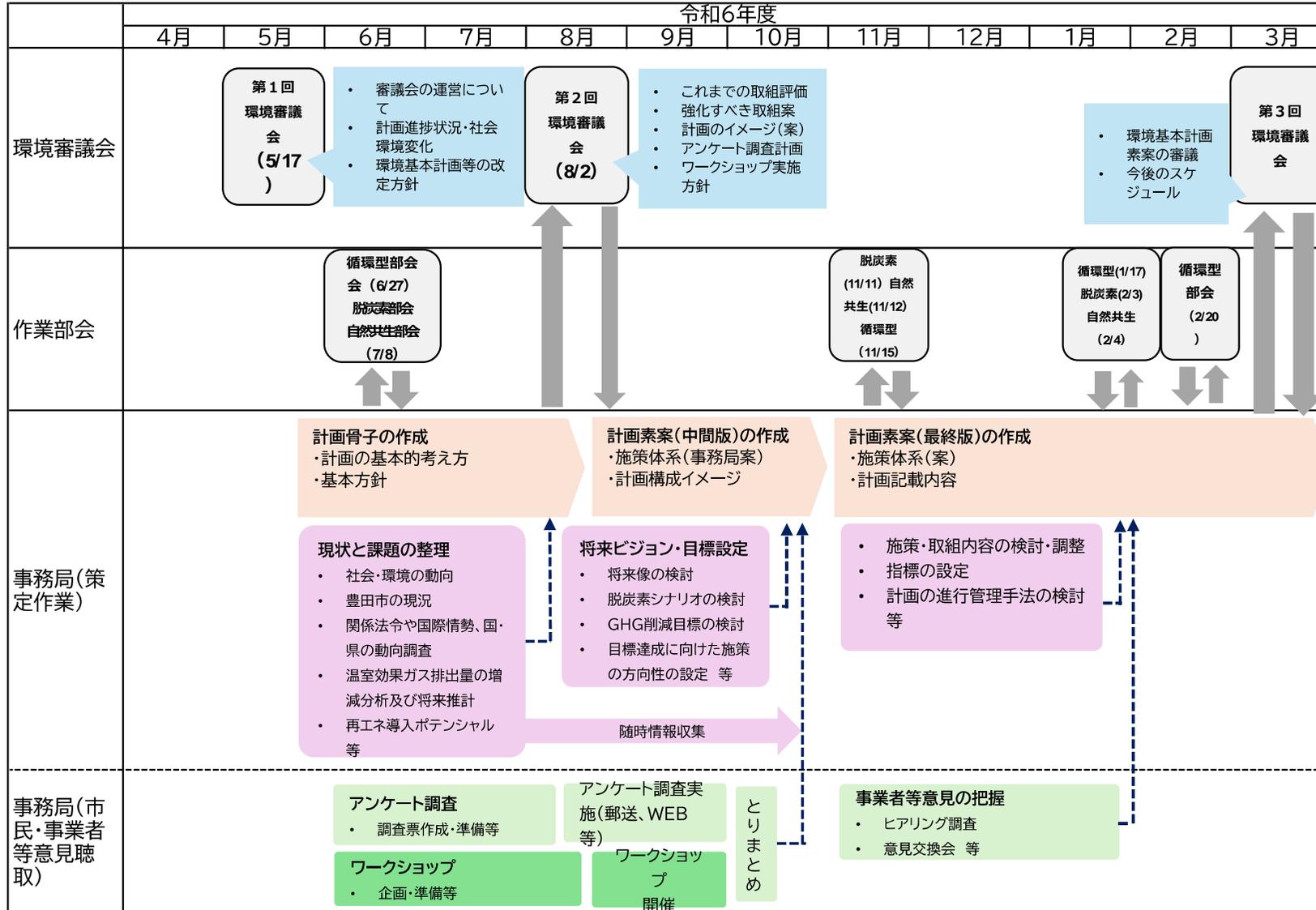
専門 部会	役職	氏名	ふりがな	所属等	
自 生 共	会長	千頭 聡	ちかみ さとし	日本福祉大学 国際学部	学識
	副会長	渡部 教行	わたなべ のりゆき	豊田市自然愛護協会	関係 団体等
脱 炭 素 社 会	部会長	杉山 範子	すぎやま のりこ	東海学園大学 教育学部 名古屋大学大学院 環境学研究科	学識
		赤坂 洋子	あかさか ようこ	NPO法人とよたエコ人プロジェクト	関係 団体等
		宇井 妥江	うい やすえ	市民公募	市民 公募
		遠藤 隆幸	えんどう たかゆき	中部電力パワーグリッド株式会社 豊田支社	関係 団体等
		近藤 元博	こんどう もとひろ	愛知工業大学 総合技術研究所	学識
自 然 共 生 社 会	部会長	増田 理子	ますだ みちこ	名古屋工業大学 社会工学専攻	学識
		大坪 瑞樹	おおつぼ みずき	豊田市自然観察の森	関係 団体等
循 環 型 社 会	部会長	谷口 功	たにくち いさお	椋山女学園大学 情報社会学部	学識
		梅村 良	うめむら りょう	とよたエコライフ倶楽部	関係 団体等
		杉浦 正春	すぎうら まさはる	豊田市区長会	関係 団体等
		竹内 徹	たけうち とおる	市民公募	市民 公募
		長谷川 陽一	はせがわ よういち	あいち豊田農業協同組合	関係 団体等
		前田 洋枝	まえだ ひろえ	南山大学総合政策学部 総合政策学科	学識

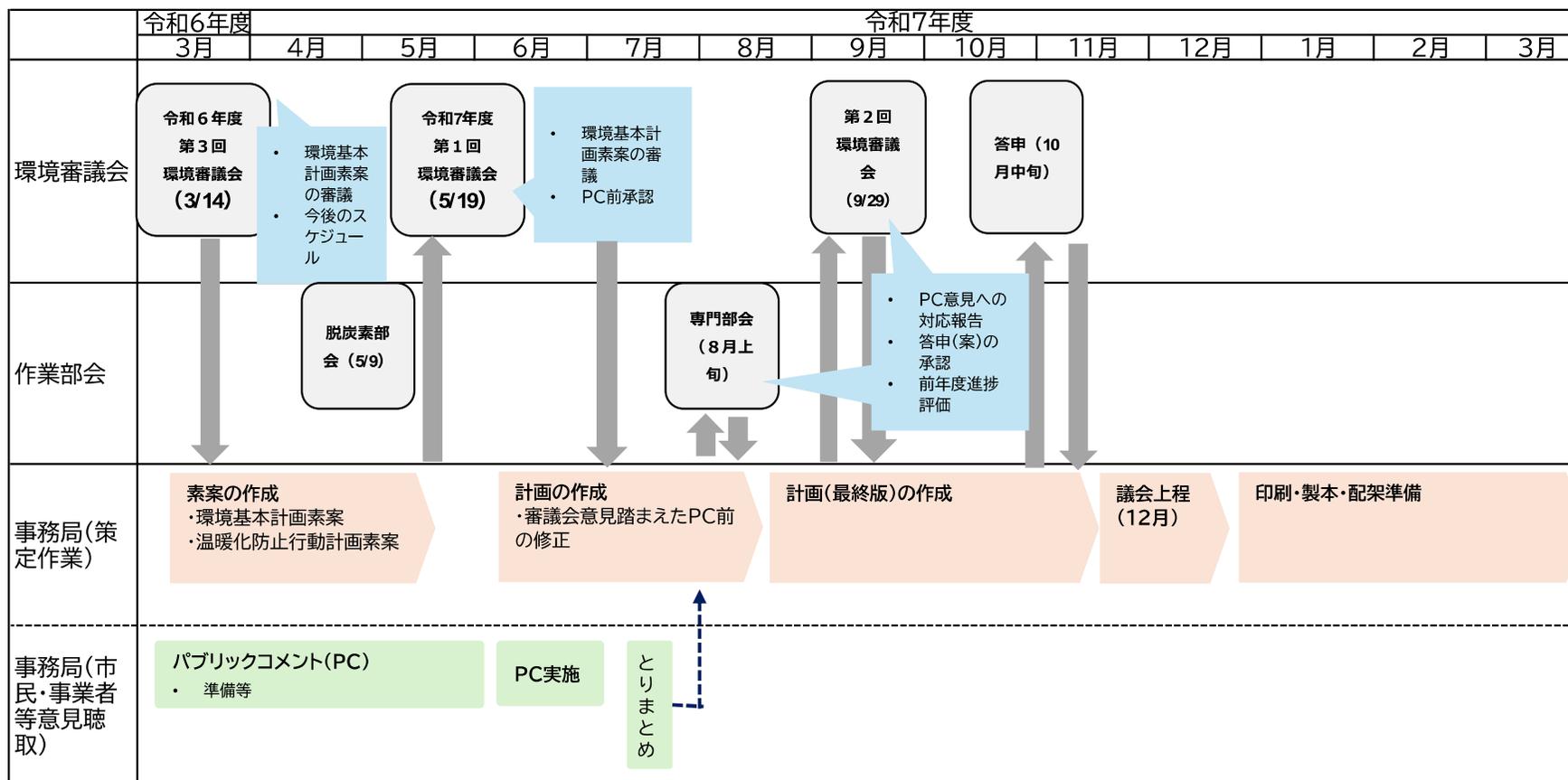
(下線は令和7年度新任、部会ごと五十音順)

計15名

2 計画改定のスケジュール

資料2





【前回から更新したポイント】

- ・令和6年度第3回豊田市環境審議会及びその後委員の方よりご意見のあった事項に関して修正を行った。
- ・次期環境基本計画等に関して庁内照会を行い、施策事業一覧及び指標一覧を作成した。

ご意見	対応方針
<p>豊田市としてのクレジットを発行する議論はしていないか。エネファームをまとめて販売し二酸化炭素排出削減量を環境価値化しているような自治体もある。計画にそういった記載がされると良いと思った。</p>	<p>事業として「非化石価値（グリーン電力証書、Jクレジット）等の活用促進」を推進してまいります。 また、ご意見を踏まえて「とよたゼロカーボンバンク」の普及啓発を目的としたコラムを記載することを検討しています。</p>
<p>「4分野の取組」に優先順位はあるか？ 例えば、生活環境は基盤となるため、一番上に持ってくる、などの考えがあれば、順番の入れ替えをすることで伝えられるのではないか。</p>	<p>生活環境は最も古くから取り組んできた基礎的な内容、ウェルビーイングの基盤であることも踏まえ、一番下に据えたい。 また、社会潮流などを踏まえ、現在の順番で表示したい。</p>
<p>（4分野の連関イメージ図について） ・4分野は並列でも、ウエディングケーキモデルのように、自然の上に乗っているイメージである。 ・考え方は様々あるが、表現として土台から上にあがっていくものと整理することで、市民の理解にも繋がるものとなるのではないか。 ・第1象限が自然共生、第2が気候変動、第3が循環型社会、第4は生活環境とすると人と自然にやさしいまち・とよたを2つの手段で対策するイメージとなるのではないか。</p>	<p>土台として「人と自然」があり、それらを守り育てる取組として4分野の取組があり、それらを共働により推進することでめざす環境像を実現するというイメージとしたいと考えています。</p>
<p>地球温暖化防止行動計画素案のP14、2050年の豊田市のイメージ「ため池への太陽光発電設置」はどこで決まったのか。この方針が一人歩きするのは好ましくない。</p>	<p>ため池に限らず様々な公共用地の利活用という観点で記載を検討しておりましたが、ご指摘を踏まえてイラストから削除いたしました。</p>
<p>地域気候変動適応計画の取組みは、環境基本計画の基本方針1（これまで4とされていたが）生活環境の中に入れるのが良いのではないか。</p>	<p>農業分野、生物分野など多岐にわたり、生活環境とも異なることから「気候変動への適応策」としての位置づけのままとしたい。</p>

【本日も議論いただきたい内容】

- ・これまでの意見等への対応や、各計画全体について、修正すべき点、議論しておくべき事項があればご指摘いただきたい

【概要】

豊田市環境基本計画等の改定を行うに当たり、その素案及び概要版を公表し、広く市民から意見を募集する。

1 資料閲覧・意見提出期間

令和7年6月16日（月）～7月15日（火）

2 資料閲覧

ホームページ、環境政策課、循環型社会推進課、市政情報コーナー、各支所・出張所、交流館、環境学習施設

3 対象計画

- ・ 豊田市環境基本計画（案）
- ・ 豊田市地球温暖化防止行動計画（豊田市地域気候変動適応計画を含む）（案）
- ・ 豊田市一般廃棄物処理基本計画（案）

4 周知方法

ホームページ、広報とよた6月号、エコット通信6月号

5 結果公表時期（予定）

ホームページ 令和7年10月頃

広報とよた 令和7年10月号